

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立羽津北小学校

校長 山中 茂生

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 学校・保護者・地域が互いに連携し、学校教育目標である、「自分らしさを出し合い、共に学ぶ子どもの育成」の実現を図ります。
- ② 保護者や地域の声を反映した教育活動を進めることで、学校とともに児童を育成する中心的な役割を果たします。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

【6年プール清掃の協力】

6月に、コミュニティスクール(以下けやき委員会)も協力して6年児童と共にプールの清掃作業を行いました。当日はけやき委員会やPTAや青少協、教職員が集まり、協力して学校のプールをきれいにしました。新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度水泳が実施できなかったため、2年分の汚れがありましたが、大人も子どもも力を合わせて水泳ができる環境が整いました。



【陶芸教室】

3年生は、地域の陶芸家の方を招いて自分たちの住む地域の地場産業である萬古焼の学習として、陶芸教室を開きました。

また4年生は、ばんこの里会館を見学してひな人形の絵付け体験をしました。本校では1・2・3学年で焼き物作りを行い、4年生で地域の産業についての学びを深めています。



【米洗川探検】

羽津緑の会の方を講師としてお招きし、クラブ活動である「チャレンジ」の時間に、本校横を流れる米洗川(よないがわ)の探検を行いました。

米洗川に住む生き物について川に入って探検しました。実際に生き物を観察することで、地域の自然を知り地域への愛着を高めることができました。

また、羽津緑の会の方から米洗川の歴史も教えていただきました。

【6年竹明かり制作の支援】

今年度も、校区の額突山公園のイベントに、6年生が竹明かりを制作して出品してはと提案があり、地域に触れるよい機会ととらえました。しかし、新型コロナウイルス感染症による「まん延防止等重点措置」のため本校での6年生全員による竹明かりの制作は実施できなくなりました。しかし、まちづくり推進協議会より、地区の行事として6年有志に竹明かり制作をしていただくこととなり、当日はけやき委員も協力して実施することができました。このように、地域のイベントに協力することで、地域の一員としての自覚を育む機会となりました。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、交通少年団入退団式・班長旗講習会・図書ボランティア(羽津絵本の会・どっこいしょ)・ばんこの店の活動は中止となりました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

けやき委員会も3年目は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策が必要となる中でのスタートとなりました。例年通りの、学校教育活動が制限されている中で、けやき委員会としてできることを考え行動した1年になりました。

今年度も、子どもたちの教育を守るためにできることをやろうという方向に議論は進み、2年間整備されていなかったプールの清掃に協力することになりました。当日は、けやき委員会の他にPTA、青少協の方に来ていただき、6年児童・教員と共に感染症対策をしつつ清掃作業をしていただくことができました。また、地域の陶芸家の方を招いた萬古焼の活動など、地域との交流も進められました。さらに、2月には地域の額突山緑地公園のイベントに合わせてまちづくり推進協議会の方の協力をいただいて6年生有志が竹明かりを制作することができました。これらは、新型コロナウイルス感染症で様々な困難がある中、地域の皆様の「子どもたちのために」という温かい思いから実現したものです。



また、けやき委員会の方々には、新型コロナウイルス感染症の対策をしつつ学んでいる児童の様子も参観していただき、前向きに学習に取り組む様子を見ていただきました。

これらの活動を通して、本校の教育について様々な角度からご意見をいただき協議する事ができました。

今年度も、実施できなかった行事がありますが、皆様の協力により様々な活

動を行うことができました。今後も地域との連携を大切にすることによって、子どもたちにより豊かな人間性を育むことができると考えます。

学校評価の児童アンケートで「学校は楽しい」に肯定的な回答は96%になり、98%の児童が「先生たちは、自分の話をよく聞いてくれている。」と回答しています。また、保護者アンケートでは、「お子様は、自分や友だちの安全に気を付けて登下校したり、学校生活を送ったりしている。」について、99%の保護者より肯定的な回答をいただいています。



3 今後に向けて

- ・ 新型コロナウイルス感染症の中で、コミュニティスクール「けやき委員会」として、PTA・地域の団体と連携して環境整備を実施することができました。また、まちづくり推進協議会と連携した竹明かり制作も実現しました。これらにより、地域と保護者・学校が協力し合う関係がより深まったと思います。

今後も、この連携を大切にしながら、これまでの活動の継続と無理のない発展的な活動を目指していきたいと考えています。

- ・ 今年度も、コミュニティスクールを継続して啓発していくために「コミュニティスクールだより」を発行することができました。今後も、学校だよりやHP、地域回覧等で積極的に啓発していきたいと考えています。